

MiYAGOSTINI Vol.10

腎機能に注意が必要な薬剤⑩ ミルクアルカリ症候群

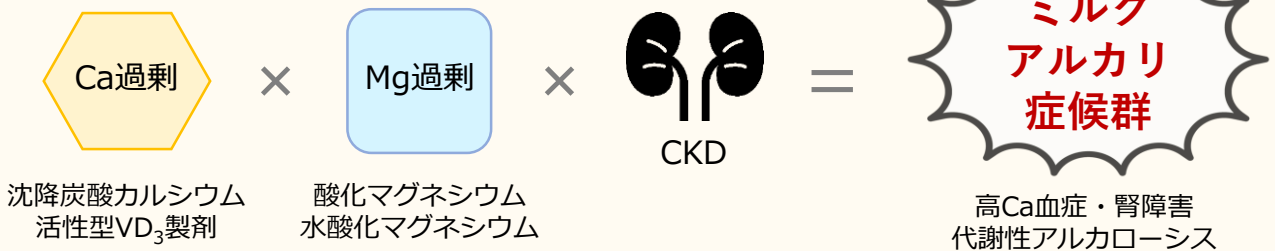
こんにちは！『MiYAGOSTINI（ミヤゴスティーニ）』第10弾です！
今回のテーマはミルクアルカリ症候群です。ビタミンD₃製剤やCa製剤とマグネシウム製剤の併用でミルクアルカリ症候群が起こりやすくなるのをご存知ですか？
腎機能を確認する最初の一步として、MiYAGOSTINIをぜひご活用ください！



VD₃製剤はこちら

ミルクアルカリ症候群

Ca含有物と吸収性制酸薬の過剰な経口摂取により、高Ca血症、代謝性アルカローシス、腎機能障害をきたす。20世紀初頭、牛乳と制酸薬の反復投与が胃潰瘍治療に用いられており、このような副作用が散見されていた。近年ではVD₃製剤やCa製剤、Mg製剤の併用による症例が報告されており、高齢者やCKD患者は注意すべき病態である。カルシウムアルカリ症候群とも呼ばれる。



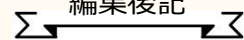
詳細

- ・CKD患者は便秘になりやすくMg製剤がよく処方される。CKD患者はMgの排泄低下により高Mg血症を引き起こしやすい。
- ・CKD患者は骨折リスクが高いためVD₃製剤がよく処方されるが、高Ca血症になる割合も高いと言われている。
- ・チアジド系利尿薬の併用により、高Ca血症を引き起こしやすい。
- ・夏場は特に、脱水による高Ca、高Mg血症に注意が必要。
- ・エルデカルシトールは、3～6か月に1回程度血清Ca値の測定がPMDAより推奨されている。(MiYAGOSTINI Vol.4より一部引用)
- ・VD₃製剤とMg製剤は別の医療機関、診療科(整形外科と内科等)で処方されることも多くみられる。2剤を併用している場合は血清Ca・Mg値を定期的に測定する。

指導時のワンポイント！

- VD₃・Mg製剤処方があれば
- ①Ca・Mg値の確認
 - ②腎機能低下の有無を確認
 - ③夏場の脱水に注意

編集後記



最近ミルクアルカリ症候群による入院が2例ありました。高Ca血症、高Mg血症の患者さんも多く見られます。定期的な測定を行うよう医師に提案することも大切ですね。(富士宮市立病院 A.Y)